

平成26年 7月発行

第4号

三重くまの森林組合便り



組合長ご挨拶

三重くまの森林組合が発足し2年が経過し、これまでは組合員皆様並びに関係機関のご支援・ご協力により順調に組合運営を執り行うことが出来ておりますが、今年度は林業予算も縮小傾向にあり、また、木材価格においても消費税増税前の駆け込み需要の反動による需要の減少、価格の下落が予想され林業においては益々厳しい状況になりつつあり、さらに、大きな問題として山林所有者の高齢化等による境界不明山林の増加が顕著に見受けられるようになってきました。

このような厳しい状況の下ではありますが、当組合としては限られた林業予算での事業確保に努め、さらに今年度から始まる『みえの森と緑の県民税』を活用した災害に強い森づくりへの取り組みなど新たな事業へも積極的に参加し、収益確保に努めてまいりたいと存じますので、引き続き組合員皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、9月に地区懇談会を各地で開催させていただきますので、是非ご参加いただき、組合員皆様のご意見・ご要望等をお聞かせ願いたいと存じます。

代表理事組合長 朝尾 高明

第2回通常総代会を開催いたしました

平成26年6月15日に御浜町くろしおホールにおいて古川御浜町長、藤根県議、大久保県議をはじめ多くのご来賓並びに総代をお招きし第2回通常総代会を開催いたしました。

総代会では25年度決算、26年度事業計画など8議案を審議いただき、全議案賛成多数にて原案とおりご承認いただきました。

今後は承認いただいた計画を遂行出来るよう役職員一丸となり取り組んでまいりますので、引き続き組合員皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



目次

組合長ご挨拶	1
総代会開催	1
特集記事	
山林管理委託事業	2
補助事業について	
ふれあいフェスタへの参加	3
みえの森と緑の県民税への 取り組み	
あとがき	
地区懇談会の開催	4
新執行体制	4
25年度決算報告	4

山林管理委託事業が始まります。

『長引く林業不振、また山林所有者の高齢化それに伴う世代交代、不在村所有者の増加等により山林の境界がわかりにくくなり、施業の実施が困難なケースも増えてきています。』

森林組合が山林の境界を決めることはできません。現在わかっている山林境界の明確化及び測量をすることで微力ながらも山林管理のお手伝いをするを目的に、平成26年度から山林管理委託事業を開始いたします。

管理委託概要

- ☆ 契約事前作業として、管理委託予定の全ての山林においてはGPS測量を実施します。
- ☆ 管理委託契約期間は一期を5ヶ年とします。
- ☆ 境界木への書付け、境界杭の埋設を行います。
- ☆ 山林内を巡視し状況報告と共に、施業の提案を行います。

採択条件

- ☆ 三重くまの森林組合の組合員であること。
- ☆ 委託したい山林が、熊野市・南牟婁郡内であること。
- ☆ 委託したい山林の境界が明確であり案内できること。
- ☆ 固定資産納税証明書又は登記識別情報通知等により委託したい山林の所有者・所在地が明確にできること。

管理委託料目安

参考例) 所有山林 1.00ha で未測量、巡視は5年間で1回、境界杭埋設希望の場合

- ☆ 契約前確定事業 (測量調査・境界杭埋設 等) 約 35,000 円
- ☆ 長期委託請求額 (境界木書付・林内巡視・報告書作成 等) 約 35,000 円

注) 山林までの距離・地形により測量費は大きく変動します。

注) 境界が茂っていて測量困難な箇所は別途、刈払い料も追加させて頂くことがあります。

注) 書付け・巡視の回数はご希望により決めることができます。

※山林管理委託をご希望の方は、採択条件を参照していただき、ご連絡していただきますようお願いいたします。



山の手入りに条件が合えば色々な補助金が受けられます。

採択条件

- ☆ 地目は山林に限ります。
- ☆ 1箇所0.1ha(1反)以上の面積が必要です。
- ☆ 植栽は2,000本/ha以上必要です。
- ☆ 下刈は必要なら植栽後10年間でできます。
- ☆ 枝打ちは30年生までできます。
- ☆ 間伐は90年生までできます。



各種補助事業は事前に計画が必要なものもあります。その為、施業を森林組合に委託または所有者さん自身で実施どちらの場合も、事前に森林組合にお問い合わせ願います。

熊野古道世界遺産10周年記念事業

「熊野の森 ふれあいフェスタ」への参加

平成26年5月24日熊野古道世界遺産登録10周年を記念して『熊野の森ふれあいフェスタ』が行われ、当組合は熊野古道『松本峠』付近レインボーの森で植樹祭のお手伝いをさせていただきました。

植樹祭には約100名の方が参加し語り部ガイド案内により松本峠を歩き植栽現場へ、組合職員による説明の後、サクラ、モミジ計100本を植栽しました。



みえの森と緑の県民税を活用した取り組みが始まりました。

三重県では今年度よりみえの森と緑の県民税を活用した災害に強い森林づくりなどへの取り組みが始まり、当組合も県・市町と協力しながら事業を推進してまいりたいと思います。

●2つの基本方針に沿って5つの対策を行います。

基本方針1.「災害に強い森林づくり」では、2つの対策「土砂や流木を出さない森林づくり」と「暮らしに身近な森林づくり」を行います。

基本方針2.「県民全体で森林を支える社会づくり」では、3つの対策「森を育む人づくり」「木の薫る空間づくり」「地域の身近な水や緑の環境づくり」を行います。

県と市町が、この基本方針・対策に沿ってそれぞれ事業を行います。

災害に強い森林づくり

●流木の発生や土砂の流出を抑制する森林の整備

近年の山地災害に見受けられる流木や土砂流出による被害を低減するため、水が集中する谷地形や浸食されやすい土壌等を立地環境とする溪流沿いの森林において、「災害緩衝林」の整備を進めます。

- ・豪雨時等に流出する恐れのある危険木を除去します。
- ・過密な森林の立木密度を下げて、樹幹の肥大成長、根系の発達等により樹木の抵抗機能、支持機能を向上させ
↳ 流下する流木や土砂の補足・堆積を促進します。
↳ 倒木や土砂等の溪流への流入・流出を抑制します。

整備前

崩壊土砂流出
危険地区の溪流

整備範囲



流木となる恐れのある危険木

整備後

伐倒木を利用した
土砂止の設置:
地表を流れる水を
分散して表土の流
出を抑制する

●土砂・流木の除去

「崩壊土砂流出危険地区」内の治山施設等に異常堆積して流出する恐れのある土砂や流木を除去します。



地区懇談会を開催します

下記日程にて地区懇談会を開催いたします。地区懇談会では事業の紹介や森林に関してのご相談・組合に対しての要望等を承りますので是非この機会にご参加ください。

開催日時	開催場所
平成 26 年 9 月 10 日	御浜町中央公民館 3 階大研修室
平成 26 年 9 月 12 日	紀宝町役場 2 階会議室
平成 26 年 9 月 17 日	紀和町コミュニティーセンター
平成 26 年 9 月 19 日	熊野市文化交流センター

※開催時間はいずれの会場も午後 7 時から

業務執行体制が変わりました。

平成 26 年 6 月末日をもって永年森林組合職員として従事していました立嶋森林経営課長が退職、7 月 1 日付で飯村森林経営課長補佐が森林経営課長に昇任いたしました。

また、中田裕三理事が熊野市の監査委員に就任するため平成 26 年 1 月末日をもって辞任、理事 8 名、監事 2 名の執行体制となりました。

平成 25 年度決算報告

単位：千円

単位：千円

貸借対照表					
	科 目	金 額		科 目	金 額
流動資産	現預金	142,241	流動負債	買掛金	317
	売掛金	1,016		未払金	12,204
	未収金	82,316		リース未払金	2,790
	立替金	18,615		預り金	40,678
	棚卸資産	1,601		未払法人税等	13,328
	小 計	245,789		小 計	69,317
固定資産	建物	16,228	固定負債	退職給付引当金	49,150
	機械装置・構築物	3,860			
	車両運搬具	1,494			
	工器具備品	1,694		小 計	49,150
	リース資産	2,790	負債合計		118,467
	森林	8,809	純資産	出資金	102,825
	土地	27,135		資本準備金	1,665
	外部出資外	17,972		法定準備金	19,905
	預託金	57		任意積立金	70,896
	保険積立金	7,487		当期末処分剰余金	19,557
	小 計	87,526		小 計	214,848
資産合計		333,315	負債・純資産計		333,315

損益計算書	
科 目	金 額
事業総収益	333,402
事業総費用	184,847
事業総利益	148,555
事業管理費	133,595
事業利益	14,960
事業外収益	489
事業外費用	500
経常利益	14,949
特別収益	4,477
特別費用	0
税引前純利益	19,426
法人税・住民税等	7,880
当期剰余金	11,546
前期繰越剰余金	8,011
当期末処分剰余金	19,557

発行元：三重くまの森林組合

〒519-4326 三重県熊野市久生屋町 1 3 6 8 番地 2 HP アドレス <http://www.miekumano.or.jp/>
Tel 0597-89-5791 Fax 0597-89-5792 E-Mail forest@miekumano.or.jp